

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2単位 キャリアデザイン	生涯学習論	富岡守	2年次	秋

授業のキーワード	ボランティア、NPO、地域社会
授業の概要・目的	群馬県内や高崎市内でのNPO・ボランティア活動などを紹介し、ボランティアへの理解を深めていただき、学生が卒業後も自発的にボランティア活動に参加する意識を育むことを目標とします。
履修のアドバイス・前提科目等	NPOボランティア方々の協力をいただき、地域社会の課題を学生と一緒に考え、自分たちに何が出来るかをともに考えます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	地域社会とボランティア	地域社会が抱える課題を検討し、地域社会におけるボランティアの果たすべき役割について考えます。	第9講	企業の社会的責任と企業の社会貢献活動	赤福餅やミートホープの偽装事件など企業の社会的責任が問われています。その背景と企業の社会貢献活動について考えます。(県内企業関係者)
第2講	ボランティア活動の歴史	日本人が抱えているボランティア感と欧米流のボランティア感に着目し、相互の違いや歴史について考えます。	第10講	伝統文化を支える市民の力	伝統文化を支える市民の力
第3講	災害ボランティア	災害時を想定した炊き出し訓練の実習と防災教育を行い、非常時に何が出来るかを考えます。(協力：災害ボランティアぐんま)	第11講	地域の誇りと地域アイデンティティ	群馬交響楽団や上毛カルタは群馬の誇りです。これらを通じて地域の誇りとは何か、地域アイデンティティとは何かを考えます。
第4講	子育て支援とボランティア	子供たちの健全育成のために活躍するNPOの活動紹介とその課題を考えます。(協力：NPO法人ぱーみんとかんぱにー)	第12講	環境保護とボランティア	悪化する地球環境、尾瀬保護活動を通じ地球温暖化などの環境問題を理解するとともに個人として何が出来るかを考えます。(協力：尾瀬保護財団)
第5講	高齢者支援とボランティア	高齢者を支援しているNPO関係者と高齢者支援のあり方や課題について考えます。(協力：NPO法人じゃんけんぽん)	第13講	ボランティアと地方自治体	NPOボランティア活動と行政はその性格や行動様式は大きく違います。両者の違いや両者による協働について考えます。
第6講	NPOと特定非営利活動促進法	阪神淡路大震災を契機に制定された特定非営利活動促進法の概要と県内の代表的なNPO活動を紹介します。	第14講	ボランティア活動の勧め	ボランティア活動の事例を紹介し、ボランティア活動時の課題や留意点、活動の原則などを説明し卒業後の参考とします。
第7講	地域づくりとボランティア	高崎市の中心街で毎月開催される「人情市」を運営するNPO法人の活動を紹介します。まちづくりとは何かを考えます。(協力：NPO法人高崎やるき堂)	第15講	定期試験	ボランティア活動に関するレポート提出
第8講	障害者支援とボランティア	障害を持つ人々の芸術活動を紹介し、地域社会との関わりや支援のあり方について考えます。(協力：NPO法人工房あかね)	評価方法		出席点(40%)、定期試験・レポート(60%)により総合的に評価

<p>備考 (関連する資格・試験等)</p>	<p>地域で暮らす人々の支援需要（何が必要か）は増加し、多様化（何をしてほしいか）していません。しかし、地域社会での支援機能は減退し続けています。高齢者や子ども達など地域で暮らす人々の生活を支援するボランティア活動はますます重要となりますが、自分で何が出来るを自分自分で考えてほしい。</p>	
<p>使用する教科書（必ず購入してください）</p>	<p>参 考 文 献</p>	
<p>なし</p>	<p>講義の参考資料はその都度配布します。</p>	